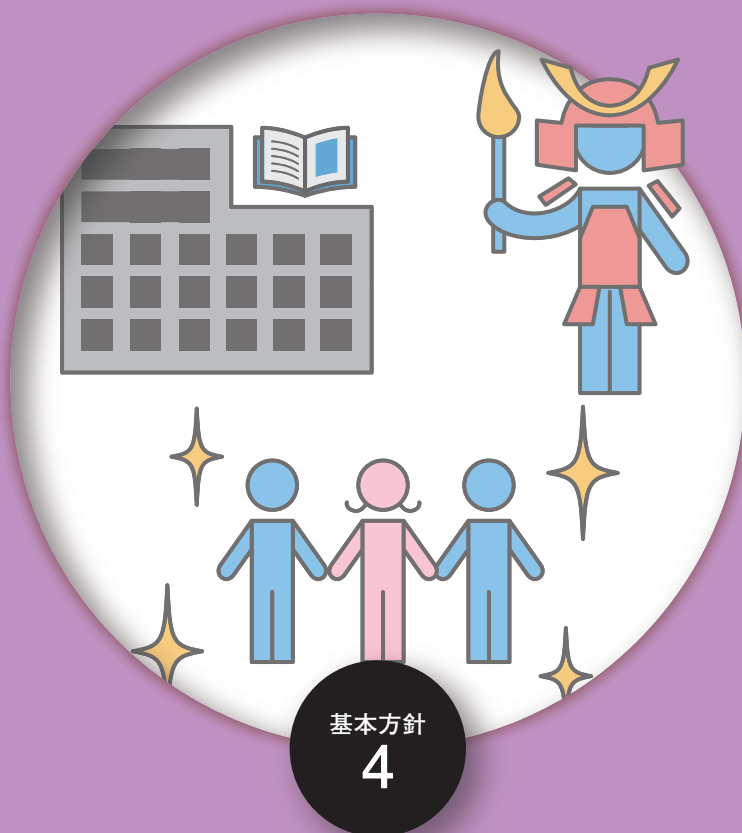




人財と 郷土

将来を担う
人財づくりと
歴史と文化が輝く
郷土づくり

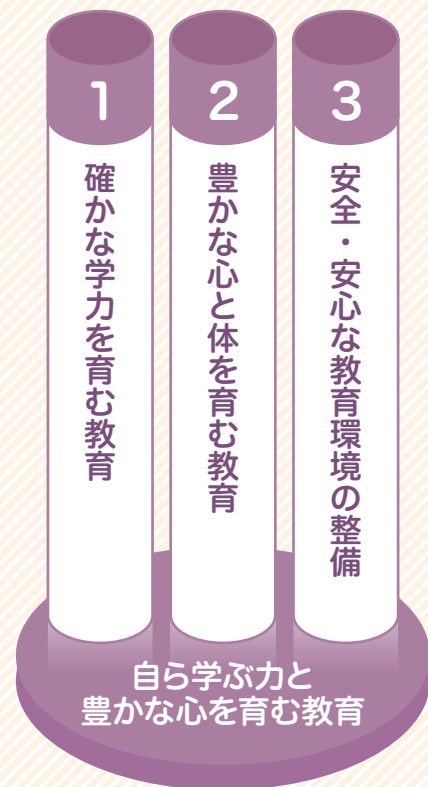
学校教育

担当課：総務課、学校教育課

政策の基本方針

自ら学ぶ力と豊かな心を育む 学校教育を推進します。

- 確かな学力を育成するため、児童生徒の実態に応じた学習指導を行うほか、教職員の資質向上に努めます。また、英語教育の充実を図ります。
- 豊かな心と体を育む教育を目指し、道徳教育の充実を図るとともに、学校給食を通じた食育の推進や部活動（中学校）の充実を進めます。
- 安全・安心の教育環境の整備を目指し、特別支援教育の推進を図るほか、相談体制の充実、情報教育環境の整備などに努めます。



【市教育委員会指定研究発表会授業の様子】



【中学校体育授業の様子】



現 状 と 課 題

子どもたちの 適切な教育環境の充実を推進しています。

●学力向上・豊かな心の育成

本市では、全ての児童生徒に、様々な場で生き生きと活躍できる力として身につけさせるために、確かな学力、豊かな心、健康な身体 の育成を目指し、学校・家庭・地域が連携した教育に取り組んでいます。今後も、児童生徒の実態や一層進展すると予測される国際化や情報化などの社会の変化に的確に対応できる教育環境づくりを推進していく必要があります。

【小学校外国語活動の様子】



【南串中学校（外壁改修工事完了）】



●小中学校施設の老朽化が進行

本市では、平成24年度に小中学校施設の耐震化が完了したものの、施設は昭和40年～50年代に集中して建設されたため老朽化が進行しており、今後、計画的な長寿命化や更新が必要となっています。

●ICT^{※1}教育の推進

本市では、ICTを活用した教育環境の整備を行っています。今後、小規模校における多人数での教育活動の機会を保障するために、ICT機器を活用し、他の学校との合同授業や合同活動などを行うことが有効と考えられることから、ICT機器の利活用のあり方を研究し、整備していく必要があります。

【中学校におけるICT教育の様子】



※1 ICT / Information and Communication Technology の略。情報処理及び情報伝達の工学及びその社会的な応用技術の総称。

施策
1

確かな学力を育む教育

(担当課：総務課、学校教育課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
戦 全国学力調査との比較 (小) 【%】	全国比 -1.8~-0.5%	全国平均	全国平均以上
戦 全国学力調査との比較 (中) 【%】	県比 -5.4~-4.0%	県平均	県平均以上

具体的な取り組み

確かな学力を育成する教育の推進

総合戦略

児童生徒の基礎学力の定着のために、児童生徒の実態に応じた効果的な学習指導を行うとともに、校内研究や各種研修会を開催し、教職員の資質向上を図ります。また、2年間の研究指定を通して、学校教育における課題解決に向けた実践的研究を行い、市内小・中学校へその成果を発表し、本市学校教育の振興を図ります。

国際理解教育の推進

国際理解の推進とグローバル化する社会に対応できる児童生徒を育成するため、小中学校の英語教育を充実させます。

主な事業

- 小学校研究指定事業
- 中学校研究指定事業
- 市学力調査事業

基本方針1

基本方針2

基本方針3

政策 4-1

政策 4-2

政策 4-3

政策 4-4

基本方針5

(担当課：学校教育課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
小学校間交流学習実施率【%】	75%	—	100%
戦 九州大会出場種目数 (中学生) 【種目／年】	6種目／年	8種目／年	10種目／年

具体的な取り組み

豊かな心を育む教育の推進

命を大切にするとともに、他人を思いやるなど豊かな心を持った児童生徒の育成を図るため、学校、家庭や地域社会と連携し、道德教育の充実を図るとともに、小学校間の交流学習を推進します。

安心安全な学校給食の提供と食育の推進

給食センターの適切な運営を図り、安全で安心な学校給食を提供します。また、児童生徒の食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるため食育^{※1}を推進します。

フッ化物洗口事業

小学校において、希望する児童がフッ化物洗口^{※2}できる環境を整えます。

中学校部活動の充実

総合戦略

市内中学校部活動振興会へ部活動運営経費・各種大会への派遣費等や、中学校総合体育大会 (県・九州・全国大会等) 出場にかかる交通費・宿泊費を補助し、中学校部活動の活性化を図ります。

主な事業

- フッ化物洗口事業
- 中学校部活動費補助金
- 中学校体育連盟運営補助金

※1 食育／一人ひとりが、生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を身に付けるための学習等の取り組み。

※2 フッ化物洗口／保育園、幼稚園、小・中学校の児童生徒等が行っている虫歯対策の一つ。フッ化物水溶液を口に含んでうがいをし、歯のエナメル質表面にフッ化物を作用させてう歯を予防する。

施策
3

安全・安心な教育環境の整備

(担当課: 総務課、学校教育課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
不登校児童生徒数【人／年】	14人／年	—	5人以下／年
校舎と体育館の外壁の耐震化率【%】	26%	—	50%以上

具体的な取り組み

一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育^{※1}の推進

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うため、特別支援学級やスクールサポーター^{※2}を配置するなど特別支援教育の充実を図ります。

教育相談体制の充実 総合戦略

学校教育課に訪問指導員を1名配置し、不登校・学校生活不適応等児童生徒やその保護者と学校との連携強化を図るとともに、児童生徒や保護者が相談しやすい環境を整備します。

教育関係施設の充実 総合戦略

小中学校の校舎外壁等、非構造体の耐震化による防災機能の強化や屋上防水の改修など施設の長寿命化に取り組み、安全・安心な教育環境の整備を図ります。

情報教育環境の整備 総合戦略

小中学校のパソコン室に設置している児童生徒用パソコン等の更新、電子黒板^{※3}など情報機器の導入等を行い、時代に応じたICT環境の整備を図るとともに、電子教科書の導入検討を行います。

適切な教育環境のあり方の検討

急激な少子化が進む中で、子ども達によりよい教育環境を提供していけるように、学校、保護者、地域住民が一体となって今後の学校教育について検討していきます。

主な事業

- 学校施設環境改善交付金事業
- 小中学校教育環境整備事業
- 小中学校スクールサポーター配置事業
- 児童生徒サポートセンター事業

※1 特別支援教育／障がいのある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するため、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持っている力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う教育活動全般をいう。

※2 スクールサポーター／子どもの学習活動の支援（学習のつまづきの解消・学習意欲向上への支援、特別な教育的配慮を要する子どもへの支援 等）と読書活動推進の支援（読み聞かせ、読書習慣確立のための支援、学校図書館の環境整備・充実、読書環境の整備 等）を行う補助員。

※3 電子黒板／描いた内容を電子的に変換することが可能なホワイトボード。

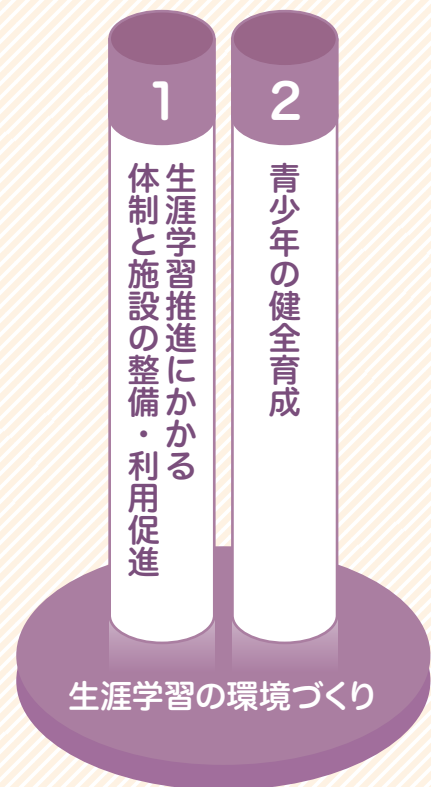
生涯学習

担当課：生涯学習課

政策の基本方針

生涯にわたって、
学べる環境をつくれます。

- 生涯学習推進体制の整備を目指し、各種講座などの多様な生涯学習プログラムの充実を図ります。また、本とふれあう機会を提供するため、愛野町と南串山町に新しい図書室を整備します。
- 公立公民館や文化会館など社会教育施設の適切な維持管理と改築等を進めます。
- 青少年の健全育成を目指し、非行防止活動の推進に努めるほか、地域や家庭の教育力の向上、親子の交流等に努めます。



【子ども体験教室の様子】



【生涯学習講座の様子】



現 状 と 課 題

読書に対する
関心が高まっています。●減少傾向にある
生涯学習講座等受講者

本市では多様な生涯学習講座を開催しています。受講者数は5千人前後で推移していますが、全体的には減少傾向にあります。

●増加傾向にある
図書館利用者数

本市は、雲仙市図書館（国見町）を中心に6つの図書室を運営しています。蔵書数、貸出冊数ともに増加傾向にあり、貸出冊数は平成26年で179千冊となっています。また、雲仙市図書館イメージキャラクター「ラブックン」を活用した読書活動の推進を図っています。

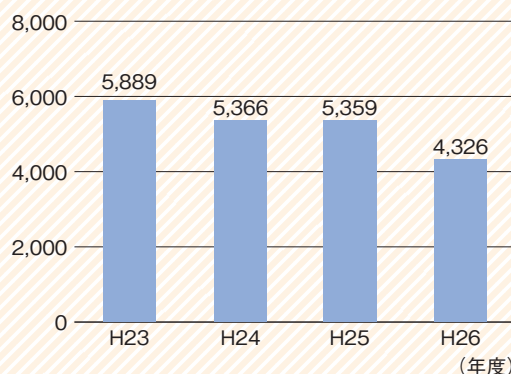
近隣市と比較し施設の大きさや蔵書数が少ないため、南串山や愛野において施設の建設が計画されています。

●ネット・メディアから
子どもたちを守る教育

ネット・メディアの危険から子どもたちを守るため、PTA連合会と連携し、市民全体にメディア啓発に関する「雲仙市統一ルール」を周知するとともに、メディア安全指導を行っています。

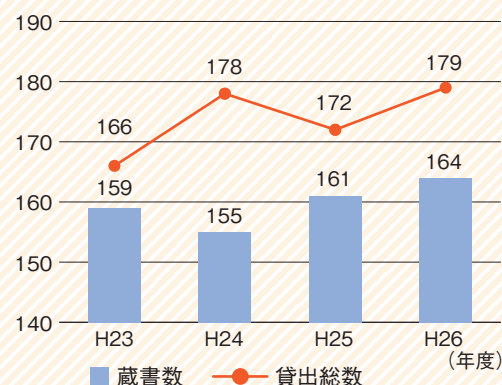
メディアに関するトラブルは年々低年齢化し、就学前の子どもたちとその保護者への安全教育が急務となっています。

【生涯学習講座等受講者数】（人）



出典：生涯学習課

【図書館の蔵書数及び貸出総数】（千冊）



出典：生涯学習課

【メディア安全指導講演会の様子】



(担当課：生涯学習課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
講座、講演会等の開催数【講座】	162講座	—	180講座
図書館利用者数【人(延べ)】	40,347人(延べ)	—	47,000人(延べ)
戦 土曜学習推進事業【教室】	25教室	30教室	30教室
戦 移動図書館事業【冊(延べ)】	貸出35,871冊 (延べ)	貸出38,000冊 (延べ)	貸出38,000冊 (延べ)

具体的な取り組み

多様な生涯学習プログラムの充実

総合戦略

各種講座・教室の開催や、家庭教育を推進する家庭教育講演会を開催し、市民の学びのきっかけづくりや生きがいがづくりを推進します。また、「放課後子ども教室」及び「土曜学習」を通じて子どもたちの可能性を伸ばした生涯学習講座を展開していきます。

自主活動グループ等への導き

学習の目的とする対象者を絞り込んだ講座・教室を計画し、参加者に対し生涯学習の喜びや楽しさを体験させることで、自主的な活動へと導きます。

読書環境の充実

移動図書館車の有効活用や読み聞かせ会などのイベントを開催し、市民の誰もが本とふれあうことができる機会を提供します。また、図書館サービスの充実を図るため、愛野町と南串山町に新しい図書室を整備します。

社会教育施設の整備と利用促進

公立公民館や文化会館などの社会教育施設の適切な維持管理に努めます。また、老朽化が著しい施設については、改築等の施設整備を計画的に進めていきます。さらに、社会教育施設の利用促進に向け、公民館活動などの積極的な情報発信に努めます。

主な事業

- 生涯学習推進事業
- 土曜学習推進事業
- 読書活動振興事業
- 公民館施設整備事業
- 社会教育施設整備事業

施策
2

青少年の健全育成

(担当課:生涯学習課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
メディアの安全指導に関する講演会等 【回 (延べ)】	4回 (延べ)	—	35回 (延べ)
ブックスタート ^{※1} 事業 【回 (延べ)】	48回 (延べ)	—	60回 (延べ)

具体的な取り組み

青少年を取り巻く環境の浄化・青少年の非行防止活動の推進

「地域の子どもは地域で育てる」機運を高め、団体、地域、学校、家庭、関係機関の連携を強化し、青少年を取り巻く環境の浄化と非行・事故の防止を推進します。

地域や家庭の教育力向上

携帯電話やコンピュータ機器をはじめとしたメディアの危険性の啓発を進めるとともに、学校や社会体育の現場と連携し、「ココロねっこ運動」や「家庭の日」の普及・推進を図り、地域や家庭における教育力の向上を目指します。

青少年の健全育成の推進

子ども会や青少年健全育成協議会の活動の育成及び支援を行います。また、各団体や地域における指導者の育成やジュニアリーダーの育成、確保に努めます。

親子の交流と心豊かな子どもの育成

「家読」の推進や、図書ボランティアと連携した読み聞かせ、乳幼児期を対象とした絵本の読み聞かせ事業を展開します。

主な事業

- 青少年健全育成協議会補助金
- PTA連合会補助金
- メディア安全啓発事業

※1 ブックスタート／赤ちゃんと保護者がともに絵本を楽しむ体験を行うもの。